麻雀の勝ち方

北信越学生卓球連盟　副幹事長　萩一真

この度は、第13回日学連アゴラに私の文章を掲載させていただけますこと、誠に感謝いたします。

　この日学連アゴラのお話を頂いた時に何を書こうか考えたところ、私が卓球と学連の次に時間を割いている「麻雀」について書かせて頂くことに決めました。勿論、卓球をメインテーマにして書くことも考えていましたが、この第13回までに偉大なる先輩方が卓球についての麗筆を書かれているため、今回は少量にさせていただきます。

　まず、麻雀に勝つために必要な三つのことは「知識」「情報」「練習」だと思っております。和了るためにルールや役を知ること、相手の河や手牌から取れる情報、精度を上げるための練習など、麻雀を知らない人からしても明らかに必要なことと分かります。

　次に自分のスタイルを確立し、「練習」するなかで、ゲームの流れや傾向を感じ麻雀に慣れることです。この２ステップを積むことで、かなり勝つ確率が上がります。

　ここで勘付いている人もいらっしゃると思いますが、このプロセスは卓球を上達するためのものと似ていると考えられます。様々な技術や戦術に対する知識、相手のプレーや癖から汲み取れる情報、技術や体力を上げる練習など酷似する点はかなり多いです。年代関係なく上位に進出する選手は、普段の生活からこのプロセスを延々と繰り返しているように感じます。やはり勝負事やゲームに勝つには、このプロセスを繰り返すことが大事であり努力することが必要不可欠ということが分かります。

　私は、現在金沢大学という全国大会出場がかなり難しい学校で選手としても活動していますが、今後も上記のように努力し続けて卒業するまでに一つでも良い成績を残せるように、また、「第89回全日本大学総合卓球選手権大会」を成功させるために北信越学生卓球連盟副幹事長として邁進していこうと思います。

因みに、麻雀も卓球も最近勝利した記憶がございません。

最後まで読んでいただきありがとうございました。